

授業科目 治療学演習3 (徒手の理学療法学 スポーツ障害理学療法学)

【担当教員名】 亀尾 徹	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60 (内15)

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

1. 主観的評価におけるクリニカルリーズニングを演習する。
2. 徒手の理学療法で用いられる姿勢観察，触診などの評価技術を演習する。
3. 徒手の理学療法における治療手技を演習する
4. スポーツ傷害の予防に用いられるテーピング技術を演習する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 評価から得られた情報を解釈し，原因組織や関連因子を推論することができる。
2. 骨のランドマークや代表的な筋，神経その他の組織を触診することができる。
3. 問診で得られた情報から客観的評価および治療を計画し，実践することができる。
4. 治療手技を説明し，実践することができる。
5. 基本的なテーピング技術を理解し，実践することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	主観的評価におけるクリニカルリーズニングのロールプレー	1	実習 亀尾
2	姿勢観察，触診演習	1,2	実習 亀尾
3	脊柱のモビライゼーション演習	2,3,4	実習 亀尾
4	肩複合体のモビライゼーション演習	2,3,4	実習 亀尾
5	膝周辺のモビライゼーション演習	2,3,4	実習 亀尾
6	テーピング演習 (1)	5	実習 亀尾
7	テーピング演習 (2)	5	実習 亀尾

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書				
その他の資料				
【評価方法】 実習態度，定期試験	【履修上の留意点】 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること			